

厚生労働科学研究費補助金

(成育疾患克服等次世代育成基盤研究事業 (健やか次世代育成総合研究事業))

わが国の至適なチャイルド・デス・レビュー制度を確立するための研究

分担研究報告書

課題2. 有効な Child Death Review 制度と実施支援体制の探索

わが国の子どもの死亡する場所と死因についての検討

- 研究分担者 沼口 敦 国立大学法人東海国立大学機構 名古屋大学医学部附属病院 救急・内科系集中治療部
- 木下 あゆみ 四国こどもとおとなの医療センター小児科
- 研究協力者 小西 央郎 中国労災病院小児科, 日本小児科学会予防のための子どもの死亡検証委員会 (委員長)
- 石倉 亜矢子 函館中央病院小児科, 日本小児科学会予防のための子どもの死亡検証委員会 (副委員長)
- 仙田 昌義 旭中央病院小児科

わが国の予防のための子どもの死亡検証 (Child Death Review、以下 CDR) は、2020 年度より厚生労働省による体制整備モデル事業が開始され、複数の自治体で導入・開始された。本来的には CDR は「子ども死亡の全例を対象とする」ことを旨とするが、わが国で年間 4000 件弱発生する子ども死亡の全てを同じ密度で検証するためには、社会資源が未整備である。CDR を有効に運営するためには、検証への組み入れ対象の抽出が必須である。

本研究は、人口動態統計から CDR の対象を有効に選定するための基礎資料を得ることを目的とし、わが国の子どもの死亡を CDR の側面から見た際の疫学を明らかにした。

2017-2020 年の 4 年間で 18 歳未満の死亡 15,179 件のうち、国外の死亡は 1.3%、住所地と異なる都道府県での死亡は 9.2%であり、CDR 実施都道府県内で死亡した者のみを検証対象とした場合に、これらの合計 10.5%は対象外となると計算された。ただし、これら対象外となりうるものは内因死例の割合が有意に高かった。一般病床数の小さい施設ほど外因死の割合が高く、小児科専門医以外の医師による死亡診断の割合が高かったことから、情報収集対象を施設規模によって決定する場合には選択バイアスについて考慮が必要と推測された。ただし地域による差があり、自地域の現状に沿った対応が必要である。既存統計で内因死かその他かの区別は概ね正確に可能だが、CDR で検証すべき事例を正確に抽出するためには不十分である。

A. 背景

予防のための子どもの死亡検証 (Child Death Review、以下 CDR) は、2020 年度より「都道府県チャイルド・デス・レビュー体制整備モデル事業」、2022 年度からは「予防のための子どもの死亡検証体制整備モデル事業」(以下、いずれも「モデル事業」と記す)として、複数の自治体で導入・開始された。初年(2020 年)度に比して、第二年(2021 年)度は事例の組み入れ要件が煩雑となり、モデル事業で検証できなかった死亡例が増加した可能性があるが、本来的には CDR は「子ども死亡の全例を対象とする」ことを旨としている。その一方で、わが国で年間 4000 件弱発生する子ども死亡の全てを同じ密度で検証するためには、社会資源が未整備である。当面 CDR を有効に運営するためには、検証への組み入れ対象の抽出が必須といえる。

米国の CDR のためのプログラムマニュアル^①には、「全ての死亡事例を検討できるだけの資料や時間がない」地域では「検証する死亡事例に優先順位をつける必要が生じる」と記載され、その選定基準として 8 項目(地域内の総死亡数、対象の年齢、死亡状況や原因、情報の入手しやすさ、死亡場所、訴訟との関係、検証チームの構成、検証会議の開催頻度)を考慮することが提案されている。

そこで本研究は、既存の公的統計がこれらのうちどの程度を明らかにするかを確認するため、人口動態統計資料を用いてわが国の子どもの死亡を CDR の側面から見た際の疫学を明らかにすることを目的とする。これによって、CDR の対象を有効に選定するための基礎資料を得ることが期待される。

B. 方法

統計法に従って、人口動態統計の目的外閲覧を申請した。

○ 死亡票:2017-2020 年に死亡した 18 歳未満のものを対象として、以下の項目を抽出して閲覧した。

- ・死亡時年齢(あるいは日月齢)、死亡年月日時分、性別
- ・住所地の県・保健所および市区町村コード
- ・死亡場所の分類コード、死亡場所の住所
- ・原死因、外因死の場合の再分類コード、死因簡単分類コードあるいは乳児死因簡単分類コード、選択死因分類コード
- ・1 歳未満の場合の出生体重および妊娠週数
- ・解剖の有無

○ 死亡個票:2017-2020 年に死亡したもの。

- ・死亡場所の施設名及び住所
- ・死因傷病名等
- ・死亡診断した医師名

この二者を、死亡年、届出保健所番号、事件簿番号等によって照合した。また次の手順に従って他情報と照合し、情報の変換を行った。

(1) 死亡個票に記載された医療機関名あるいは施設住所と、一般公開情報(地方厚生局の公開する各県の医療機関一覧)とを照合し、該当機関の基本情報(所在都道府県、小児科標榜の有無、病医院の別、病床数)を取得した。その上で死亡診断施設名を、国外、県外、県内の小児科非標榜施設、県内の小児科標榜医院、県内の小児科標榜病院(200 床未満、200-500 床未満、500-700 床未満、700 床以上の 4 区分)、県内の小児専門病院、の 9 群に分類し置換した。

(2) 死亡診断した医師名を、日本小児科学会および日本法医学会の専門医名簿と照合し、それぞれの学会の認定する専門医等に該当するかに変換した。

(3) 死因を、先行研究に準じて再分類した(表 1)。まず、政府統計のために付与された「死因簡単分類」および「乳児死因簡単分類」のコード番号から表 1 の再分類に振り分けるための自動変換表を、複数の小児科医の合議によって作成し、各例に適用した。次いで、死亡票および死亡個票上の死因傷病名、剖検所見、出生体重その他の記載内容をもとに、分担研究者および研究協力者が手動的に再分類した。この作業は、本研究のために開発した閲覧ソフトウェア(図 1)上で行った。

(4) 年(月曜日) 齢を、次のとおり群分けした。まず、月齢 1 未満、月齢 1~1 歳未満、1~5 歳未満、5~10 歳未満、10~15 歳未満、15 歳以上の 6 群に分類した。また乳児(1 歳未満)のみ抽出した解析においては、政府統計に準じて、生後 1 時間未満、1~12 時間未満、12~24 時間未満、1~2 日未満、2~3 日未満、3~4 日未満、4~5 日未満、5~6 日未満、6~7 日未満、1~2 週未満、2~3 週未満、3~4 週未満、4 週~2 ヶ月未満、2~3 ヶ月未満、3~4 ヶ月未満、4~5 ヶ月未満、5~6 ヶ月未満、6~7 ヶ月未満、7~8 ヶ月未満、8~9 ヶ月未満、9~10 ヶ月未満、10~11 ヶ月未満、11 ヶ月~1 歳未満、の 22 群に分類した。

これらの変換作業で得られたデータを該当事例の元データに添付して、中間生成物とした。この中間生成ファイルに対して、解析を行った。

コード	再分類の詳細
1	他為 (故意に加わった外傷, 虐待, ネグレクト) 窒息, 揺さぶり, 刺傷, 銃創, 中毒, その他の手段による他殺(戦争やテロ, その他の集団暴力による死亡も含む)。ネグレクト(育児放棄)による死亡。
2	自殺 (自殺または故意の自傷) 縊死, 銃器損傷, アセトアミノフェン中毒, 自絞, 溶剤吸入, アルコールまたは薬物中毒, その他の自損, による死亡。通常は乳幼児でなく思春期の児にみられる。
3	その他の外因 (外傷およびその他の外因死) 単独頭部外傷, 頭部以外の外傷または多発外傷, 熱傷, 溺水, 就学前児の意図しない中毒物質誤飲, アナフィラキシー, その他の外因。故意に加えられた外傷はカテゴリー1に分類。
4	悪性疾患 (悪性腫瘍) 固形腫瘍, 白血病, リンパ腫, 組織球症のような悪性の増殖性疾患。たとえ死亡直前の最終イベントが感染症や出血などであっても, 基礎疾患として有していればこのカテゴリーに分類。
5	急性疾患 (急性の内科的または外科的疾患) 川崎病, 急性腎炎, 腸捻転, 糖尿病性ケトアシドーシス, 喘息発作, 腸重積, 虫垂炎など。てんかんに伴う予期せぬ突然死はここに含む。
6	慢性疾患 (慢性疾患あるいは慢性的な病状) クローン病や肝疾患, 神経変性疾患, 免疫不全, 嚢胞性線維症など。周産期以降に発生した原因の明らかな脳性麻痺も含む。たとえ死亡直前の最終イベントが感染症や出血などであっても, 基礎疾患として有していれば, このカテゴリーに分類される。
7	先天性疾患 (染色体異常, 遺伝子異常, 先天異常) トリソミーおよびその他の染色体異常, 単一遺伝子病, 心奇形を含むその他の先天異常。
8	周産期の問題 (周産期/新生児期に発生したイベント) 年齢に関わらず, 死因が周産期のイベント(例: 早産児)に合併する続発症に由来する死亡。分娩前または分娩時に生じた酸素欠乏, 気管支肺異形成症, 新生児出血後水頭症による死亡。原因不明の脳性麻痺, 先天性または新生児早期(生後1週間未満)の感染症はここに分類。
9	感染症 生後1週間以降のまたは修正在胎週数が正期に達した以降の, 他のカテゴリーに分類される疾患の合併症ではいあらゆる初感染。菌血症, 肺炎, 髄膜炎, HIV 感染症など。
0	不詳(SIDSを含む) (突然の予期しない, 説明できない死亡) SIDS(乳幼児突然死症候群)と診断されたもの, または年齢に関係なく死因が確認できないもの。てんかんに伴う突然の予期しない死亡は, カテゴリー5に分類。

(表 1) 予防介入に着目した死因再分類 (文献 2 より引用)



(図1) 本研究のために開発した閲覧ソフトウェア

C. 結果と考察

2017. 1. 1 から 2020. 12. 31 までにわが国で死亡届が提出された 18 歳未満のものは 15, 179 件であった。年齢は中央値 1. 53 [四分位数 0. 14-11. 60] 歳、性別は男性 8, 474 件 (55. 8%) であった。年齢区分別の件数および性別は、別添表 1 のとおりであった。また、住所地都道府県別の性別および年齢区分別の人数は、別添表 2 のとおりであった。住所地によって性別および年齢区分のいずれにも差を認めなかった。

死亡診断した施設を、別添表 3 に示した。全体の 1. 9% に相当する 293 例では、照合可能な死亡個票が得られなかったか、死亡個票の該当欄が空欄であるなどのため、不明であった。194 例

(1. 3%) は国外での死亡のため、医療機関は不明であった。全体の 9. 2% に相当する 1, 393 例は、住所地のある都道府県とは異なる都道府県での死亡であった。また、住所地都道府県別の死亡診断した施設を別添表 4 に示した。もし死亡事例調査を当該都道府県内での発生のみを対象とすると、全国で 10. 5% 程度 (都道府県によって 1. 7%~32. 3%) が把握されないことが示された。

死因再分類 (研究者が手動的に再分類した結果) を、別添表 5 に示した。ここで、便宜的に再分類 1~3 を「外因」、再分類 4~9 を「内因」、再分類 0 を「不詳」としたが、死亡診断書に記載する「死因の種類 (内因死/外因死/不詳の死の別)」とは異なる分類方法であるため、当該項目の統計とは異なる。また、死亡したところ (死亡診断した施設) の別に、死因再分類を別添表 6 に

示した。施設の規模 (病床数) が大きいほど内因死の割合が高く、逆に施設の規模 (病床数) が小さいほど、外因死、特に自殺の割合が高いことが示された。なお、県外および国外の死亡のため都道府県内の死亡調査で把握できない例の死因再分類は、全体の死因分布と有意に異なり (カイ二乗検定, $p < 0. 001$)、外因および不詳が少なく内因 (特に先天性、周産期、悪性疾患) が多いことが示された。

死亡診断した医師を、死亡診断した施設の別に、別添表 7 に示した。また住所地都道府県別の死亡診断した医師を別添表 8 に示した。小児科専門医による死亡診断は全国で 6, 538 例 (43. 1%) であり、施設の規模 (病床数) が大きいほどその割合が高く、都道府県によって 25. 2%-59. 4% と大きな差が見られた。

また、1 歳未満の死亡のみ抽出して同様の解析を行なった。1 歳未満の死亡は 6, 940 件であり、日齢は中央値 37 [四分位数 1-139] 日、性別は男性 3, 694 (53. 2%) であった。日週月齢区分別の件数および性別は別添表 9 のとおり、住所地都道府県別の件数は別添表 10 のとおりであった。死亡診断した施設 (表 11)、住所地都道府県別の死亡診断した施設 (表 12)、死因再分類の結果 (表 13)、死亡診断した施設の別の死因再分類 (表 14) および死亡診断した医師 (表 15)、住所地都道府県別の死亡診断した医師 (表 16) は、各表に示すとおりであった。

死亡事例を CDR の対象に組み入れる際に、施設規模によって情報収集のしやすさ、検証の実現し

やすさが異なる場合がある。CDR を実現する地域でこのような対象施設の偏りがある場合に、検証される事例に選択バイアスが発生し検証内容に偏りを生じる可能性がある。地域の子どもの死亡について概観する場合には、このことに留意する必要がある。

統計の目的で付与された死因簡単分類および乳児死因簡単分類のコード番号から、CDR の目的で行われる死因再分類への自動変換の精度について検討した。最終的に用手的に判定された再分類結果を基準として、死因簡単分類から自動変換した結果が一致していたか否かと一致率を表 17 に示した。用手判定の結果が自動変換結果と一致していたものは、外因（死因再分類「1. 他為」「2. 自殺」「3. その他外因」の合計）のうち 69.2%、内因（死因再分類「4. 悪性疾患」～「9. 感染症」の合計）のうち 84.2%、不詳（死因再分類「0. 不詳/SIDS」）のうち 68.1%にすぎなかったが、再分類の詳細を問わず外因であることは一致していたものは 96.9%、内因であることは一致していたものは 99.2%であった。最終的に「1. 他為」と判断された例は、その半数近くが自動診断では「3. その他外因」とされており（データ未提示）、一致率が 44.6%と低かった。なお死亡票には別途、外因の場合に詳細を分類する「外因符号」項があり、他殺を示す分類記号（X85-Y09）が付与された例が 114 例、他殺との鑑別が困難である旨の分類記号（Y10-Y34）が付与された例が 297 例存在した（データ未提示）。これらのうち死因再分類で「1. 他為」とされたものは、前者のうち 111 例（97.4%）と後者のうち 51 例（17.1%）であった。統計上の分類と本研究による CDR を主眼とした分類は、判定基準や情報源などが異なる可能性がある。

また 1 歳未満の例を抽出して、乳児死因簡単分類から自動変換した結果が一致していたか一致率を表 18 に示した。同様に計算して、用手判定の結果が自動変換結果と一致していたものは、外因（死因再分類「1. 他為」「2. 自殺」「3. その他外因」の合計）のうち 64.9%、内因（死因再分類「4. 悪性疾患」～「9. 感染症」の合計）のうち 82.0%、不詳（死因再分類「0. 不詳/SIDS」）のうち 81.6%にすぎなかったが、再分類の詳細を問わず外因であることは一致していたものは 81.5%、内因であることは一致していたものは 93.2%であった。

現在の CDR において、詳細検証の対象事例を抽出（スクリーニング）する手順が想定されている。そのための変数として、死因再分類、養育不全の有無、予防可能性の有無、その他の懸念が参

照される。養育不全のうち虐待については、統計上「他殺」とされれば抽出できるが、その他の場合は困難である。死因に関しては、死亡票等の統計情報から、少なくとも外因か内因か程度の類推はおおむね可能である。自動変換の計算式のため多項目を盛り込んだ計算式を開発すれば、ある程度正確な抽出が、これ以上の医療情報等を加味しなくとも可能かもしれない。

D. まとめ

死亡票および死亡個票を目的外閲覧し、CDR における事例抽出の背景情報とするべく、子どもの死亡について現状を分析した。

全体的な傾向として、CDR 実施地域外で死亡した事例は内因死が多く、病床数の少ない施設ほど外因死が多い傾向が見られた。ただし都道府県による差異が大きいため、CDR を実施する地域では、予め自地域の子どもの死亡の疫学を確認して、CDR を実施する上での留意事項を認識することが好ましいといえる。

本研究による解析結果をこの目的のため利用できれば、各地の CDR 実現の一助となると推測された。

E. 健康危機管理情報

なし

F. 研究発表

（論文報告準備中）

G. 知的財産権の出願・登録状況（予定を含む）

1. 特許取得 なし
2. 実用新案登録 なし
3. その他 なし

H. 参考文献

- (1) A Program Manual for Child Death Review. Ed. Theresa Covington, Valodi Foster, Sara Rich. The National Center for Child Death Review, 2005.
(<https://ncfrp.org/wp-content/uploads/NCRPCD-Docs/ProgramManual.pdf> 最終閲覧 15 March 2022)
- (2) Pearson GA, Ward-Platt M, Kelly D. How children die: classifying child deaths. Arch Dis Child. 2011 Oct;96(10):922-926.

別添表

年齢区分	合計	性別	
		男	女
1ヶ月未満	3233	1747	1486
1ヶ月～1歳未満	3707	1947	1760
1歳～5歳未満	2573	1371	1202
5歳～10歳未満	1457	802	655
10～15歳未満	1811	1062	749
15～18歳未満	2398	1545	853
不詳	0		
(合計)	15179	8474	6705

(別添表1：対象の年齢群別の件数および性別)

住所地 都道府県	合計	性別		年齢群別					
		男	女	1ヶ月 未満	1ヶ月～ 1歳未満	1～5歳 未満	5～10歳 未満	10～15 歳未満	15～18 歳未満
北海道	564	321	243	114	139	105	49	69	88
青森県	155	88	67	54	21	27	15	15	23
岩手県	155	92	63	26	42	26	15	18	28
宮城県	273	146	127	68	56	45	27	29	48
秋田県	104	54	50	30	20	11	7	15	21
山形県	139	80	59	34	25	25	10	21	24
福島県	241	130	111	40	68	45	17	42	29
茨城県	394	211	183	89	109	54	41	42	59
栃木県	259	167	92	55	65	39	22	26	52
群馬県	231	123	108	50	50	39	15	31	46
埼玉県	814	462	352	148	206	123	82	114	141
千葉県	787	452	335	171	184	122	79	100	131
東京都	1459	809	650	295	378	269	140	170	207
神奈川県	1084	580	504	262	263	164	85	132	178
新潟県	230	132	98	54	43	40	30	24	39
富山県	85	55	30	20	19	13	11	10	12
石川県	131	74	57	28	27	20	14	18	24

福井県	117	66	51	29	26	15	14	20	13
山梨県	85	50	35	20	18	17	6	8	16
長野県	223	132	91	54	31	37	28	25	48
岐阜県	231	133	98	54	57	32	17	29	42
静岡県	468	260	208	101	106	75	50	60	76
愛知県	961	528	433	195	228	163	95	117	163
三重県	192	106	86	36	48	27	25	21	35
滋賀県	177	93	84	44	40	29	18	19	27
京都府	249	125	124	40	75	55	24	27	28
大阪府	1069	582	487	200	286	179	105	119	180
兵庫県	615	364	251	108	144	116	56	78	113
奈良県	161	82	79	35	36	30	18	15	27
和歌山県	93	51	42	14	23	15	14	10	17
鳥取県	61	37	24	17	13	10	9	3	9
島根県	82	49	33	20	20	12	6	7	17
岡山県	236	136	100	51	56	41	21	27	40
広島県	348	184	164	76	79	61	42	44	46
山口県	172	93	79	31	46	37	10	24	24
徳島県	85	46	39	23	24	9	2	10	17
香川県	119	62	57	21	28	25	12	12	21
愛媛県	132	66	66	18	24	36	22	14	18
高知県	92	61	31	17	20	19	12	13	11
福岡県	686	396	290	161	176	129	58	72	90
佐賀県	96	57	39	17	26	12	10	17	14
長崎県	171	101	70	47	48	30	16	14	16
熊本県	209	113	96	51	56	35	21	19	27
大分県	116	63	53	24	31	18	14	17	12
宮崎県	139	77	62	23	41	29	11	18	17
鹿児島県	229	122	107	43	72	30	27	24	33
沖縄県	237	132	105	63	68	45	17	18	26
国外	188	109	79	52	35	29	15	34	23
不詳	35	22	13	10	11	9	3	0	2
(合計)	15179	8474	6705	3233	3707	2573	1457	1811	2398

(別添表2：都道府県別の件数，性別および年齢群別)

年齢 区分	死亡したところ(死亡診断した施設)の別									(不明)
	国外	県外	県内		小児科標榜病院				小児専門病院	
			小児科 標榜施 設以外	小児科 標榜医 院	<200 床	200- 500床	500- 700床	700床~		
1ヶ月未 満	52	362	71	7	105	322	836	1009	424	45
1ヶ月~ 1歳未満	34	335	107	32	106	422	916	1208	482	65
1~5歳 未満	34	224	105	50	102	343	617	694	341	63
5~10歳 未満	18	146	98	64	58	194	322	374	150	33
10~15 歳未満	33	151	232	103	85	246	389	379	166	27
15~18 歳未満	23	175	536	142	99	403	464	420	76	60
(合計)	194	1393	1149	398	555	1930	3544	4084	1639	293

(別添表3：対象の年齢群別の死亡したところ(死亡診断した施設))

住所地 都道府県	死亡したところ(死亡診断した施設)の別								(不明)
	国外	県外	県内		小児科標榜病院				
			小児科 標榜施 設以外	小児科 標榜医 院	<200 床	200- 500床	500- 700床	700床～および 小児専門病院	
北海道	0	13	25	12	39	107	171	180	17
青森県	0	10	8	3	8	21	100	0	5
岩手県	0	4	17	0	24	38	6	65	1
宮城県	1	12	25	13	2	67	6	142	5
秋田県	0	11	13	1	5	17	57	0	0
山形県	0	10	8	0	1	11	107	0	2
福島県	0	19	18	3	12	17	42	126	4
茨城県	1	49	28	4	16	75	8	212	1
栃木県	1	15	23	10	4	39	31	135	1
群馬県	0	32	20	2	5	56	49	66	1
埼玉県	0	126	55	27	19	35	124	422	6
千葉県	0	111	100	49	27	107	201	183	9
東京都	3	145	149	57	20	156	119	778	32
神奈川県	2	102	84	14	10	95	243	444	90
新潟県	0	4	11	4	4	39	92	73	3
富山県	0	2	10	4	1	13	53	0	2
石川県	0	13	9	2	3	14	41	47	2
福井県	0	17	3	2	14	13	67	0	1
山梨県	0	13	6	2	5	5	53	0	1
長野県	0	11	16	5	9	37	53	90	2
岐阜県	0	26	7	9	6	43	114	26	0
静岡県	0	17	16	15	4	68	139	199	10
愛知県	4	73	58	30	10	61	240	481	4
三重県	0	24	15	8	2	40	98	0	5
滋賀県	2	17	4	3	5	44	97	2	3
京都府	2	23	14	6	6	52	47	96	3
大阪府	2	71	108	33	25	111	81	626	12
兵庫県	1	58	87	15	16	61	82	291	4

奈良県	0	27	4	7	0	22	9	89	3
和歌山県	0	16	2	2	4	7	0	61	1
鳥取県	0	2	3	1	1	5	47	0	2
島根県	0	11	3	5	2	8	52	0	1
岡山県	0	13	17	5	2	16	35	146	2
広島県	0	36	30	6	8	71	107	88	2
山口県	0	21	12	0	120	3	13	0	3
徳島県	0	3	0	1	2	24	55	0	0
香川県	0	12	5	1	4	3	56	38	0
愛媛県	0	10	9	4	4	27	41	37	0
高知県	0	3	6	5	14	21	43	0	0
福岡県	0	57	40	10	10	66	122	376	5
佐賀県	0	31	10	2	1	35	16	0	1
長崎県	0	15	7	0	8	11	71	56	3
熊本県	1	26	20	1	15	72	3	69	2
大分県	0	25	9	0	6	14	57	0	5
宮崎県	0	9	10	7	8	37	67	0	1
鹿児島県	0	14	18	2	30	22	137	1	5
沖縄県	0	4	7	6	14	24	92	78	12
国外	174	12	0	0	0	0	0	0	2
不詳	0	18	0	0	0	0	0	0	17
(合計)	194	1393	1149	398	555	1930	3544	5723	293

(別添表4：都道府県別の死亡したところ(死亡診断した施設)，ただし小児専門病院と小児科標準病院のうち700床以上の施設を合算して示した)

年齢 区分	死因再分類(※ ただしここで死因再分類として、用手による分類結果を採用する)									
	外因			内因						不詳
	1 他為	2 自殺	3 その 他外因	4 悪性 疾患	5 急性 疾病	6 慢性 疾患	7 先天 性	8 周産 期	9 感染 症	10 不詳 /SIDS
1ヶ月未 満	42	0	7	37	28	7	1359	1568	13	172
1ヶ月～ 1歳未満	52	0	110	79	102	97	1354	406	83	1424
1～5歳 未満	70	0	258	344	240	198	682	85	169	527
5～10歳 未満	42	2	262	400	150	135	211	45	53	157
10～15 歳未満	19	458	233	469	125	135	157	33	39	143
15～18 歳未満	24	1109	410	307	109	137	113	25	19	145
(合計)	249	1569	1280	1636	754	709	3876	2162	376	2568

(別添表 5：対象の年齢群別の用手分類による死因再分類結果)

死亡したところ (死亡診断した施設の種類)	死因再分類(※ ただしここで死因再分類として、用手による分類結果を採用する)									
	外因			内因						不詳
	1 他為	2 自殺	3 その他外因	4 悪性疾患	5 急性疾病	6 慢性疾患	7 先天性	8 周産期	9 感染症	10 不詳/SIDS
小児専門病院	14	4	53	225	90	91	760	213	47	142
小児科標榜病院 (700床～)	71	195	268	456	201	188	1181	657	96	771
小児科標榜病院 (500-700床)	76	278	346	289	197	146	844	608	99	661
小児科標榜病院 (200-500床)	19	243	226	103	136	110	433	261	64	335
小児科標榜病院 (～200床)	14	66	68	49	22	44	94	91	18	89
小児科標榜医院	9	134	34	130	8	17	34	4	2	26
小児科標榜施設 以外	27	517	112	155	19	22	39	40	10	208
県外	13	85	117	195	67	78	432	219	21	166
国外	0	7	21	11	7	2	20	38	9	79
(不明)	6	40	35	23	7	11	39	31	10	91
(合計)	249	1569	1280	1636	754	709	3876	2162	376	2568

(別添表6：死亡したところ(死亡診断した施設)別の用手分類による死因再分類結果)

死亡したところ (死亡診断した施設の種類)	合計	死亡診断した医師		
		小児科専門医	法医専門医等	その他
小児専門病院	1639	1146	72	421
小児科標榜病院 (700床～)	4084	1981	639	1464
小児科標榜病院 (500-700床)	3544	1646	493	1405
小児科標榜病院 (200-500床)	1930	776	162	992
小児科標榜病院 (～200床)	555	213	36	306
小児科標榜医院	398	95	6	297
小児科標榜施設以外	1149	0	158	991
県外	1393	681	125	587
国外	194	0	0	194
(不明)	293	0	1	292
合計	15179	6538	1692	6949

(別添表7：死亡したところ(死亡診断した施設)別の、死亡診断した医師)

住所地 都道府県	合計	死亡診断した医師		
		小児科専門医	法医専門医等	その他
北海道	564	231	111	222
青森県	155	77	0	78
岩手県	155	83	3	69
宮城県	273	140	0	133
秋田県	104	55	0	49
山形県	139	69	13	57
福島県	241	135	5	101
茨城県	394	172	5	217
栃木県	259	112	13	134
群馬県	231	120	1	110
埼玉県	814	350	87	377
千葉県	787	284	19	484
東京都	1459	584	307	568
神奈川県	1084	398	193	493
新潟県	230	123	20	87
富山県	85	46	0	39
石川県	131	71	1	59
福井県	117	55	26	36
山梨県	85	42	6	37
長野県	223	118	24	81
岐阜県	231	105	3	123
静岡県	468	232	29	207
愛知県	961	479	4	478
三重県	192	73	40	79
滋賀県	177	68	27	82
京都府	249	105	46	98
大阪府	1069	425	189	455
兵庫県	615	249	126	240
奈良県	161	81	18	62
和歌山県	93	41	20	32
鳥取県	61	33	12	16

島根県	82	38	15	29
岡山県	236	91	35	110
広島県	348	151	22	175
山口県	172	82	17	73
徳島県	85	41	17	27
香川県	119	48	25	46
愛媛県	132	74	7	51
高知県	92	48	1	43
福岡県	686	317	78	291
佐賀県	96	57	8	31
長崎県	171	99	8	64
熊本県	209	76	32	101
大分県	116	54	2	60
宮崎県	139	35	17	87
鹿児島県	229	68	13	148
沖縄県	237	100	31	106
国外	188	3	4	181
不詳	35	0	12	23
合計	15179	6538	1692	6949

(別添表 8：住所地都道府県別の、死亡診断した医師)

日週月齡区分		合計	性別	
記号	概要		男	女
0	1 時間未満	362	187	175
1	1 時間～12 時間未満	1012	542	470
2	12 時間～24 時間未満	354	194	160
3	1 日～2 日未満	295	179	116
4	2 日～ 3 日未満	180	92	88
5	3 日～ 4 日未満	87	41	46
6	4 日～ 5 日未満	74	40	34
7	5 日～ 6 日未満	58	30	28
8	6 日～ 7 日未満	55	36	19
9	1 週～ 2 週未満	292	167	125
10	2 週～ 3 週未満	261	135	126
11	3 週～ 4 週未満	203	104	99
12	4 週～ 2 ヶ月未満	764	411	353
13	2 ヶ月～ 3 ヶ月未満	527	271	256
14	3 ヶ月～ 4 ヶ月未満	416	214	202
15	4 ヶ月～ 5 ヶ月未満	428	228	200
16	5 ヶ月～ 6 ヶ月未満	311	176	135
17	6 ヶ月～ 7 ヶ月未満	289	149	140
18	7 ヶ月～ 8 ヶ月未満	257	125	132
19	8 ヶ月～ 9 ヶ月未満	234	125	109
20	9 ヶ月～10 ヶ月未満	189	95	94
21	10 ヶ月～11 ヶ月未満	159	93	66
22	11 ヶ月～1 年未満	133	60	73
VV	不詳	0		
	(合計)	6940	3694	3246

(別添表 9：対象（1 歳未満のみ抽出）の日週月群別の件数および性別)

住所地 都道府県	合計	性別		月週日年齢区分																							
		男	女	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	
北海道	253	138	115	15	32	7	12	8	3	2	4	4	7	11	9	24	23	25	17	9	7	8	7	9	6	4	
青森県	75	37	38	5	24	9	0	3	4	1	0	0	2	5	1	4	1	4	3	2	2	1	1	2	1	0	
岩手県	68	37	31	2	12	2	2	0	0	1	0	1	0	1	3	6	11	8	4	5	2	1	1	3	0	1	
宮城県	124	68	56	13	25	6	4	2	3	1	0	2	5	3	4	7	12	4	4	5	7	6	4	2	5	0	
秋田県	50	23	27	7	7	4	2	2	0	0	0	1	2	4	1	6	2	2	0	1	3	3	0	2	0	1	
山形県	59	37	22	4	9	1	5	2	1	1	1	1	5	4	0	3	3	3	4	3	1	2	3	2	1	0	
福島県	108	60	48	2	11	6	2	1	0	0	1	1	6	7	3	12	13	8	5	5	3	6	7	5	3	1	
茨城県	198	104	94	13	27	11	6	6	1	1	1	0	13	4	6	28	12	12	13	10	4	8	5	9	3	5	
栃木県	120	71	49	4	12	6	6	5	2	1	3	1	6	7	2	21	5	7	13	3	3	4	3	4	2	0	
群馬県	100	49	51	4	20	7	4	2	2	0	1	0	3	5	2	12	4	7	6	4	3	3	3	5	1	2	
埼玉県	354	191	163	15	38	15	11	15	3	4	4	1	15	12	15	37	26	21	23	26	16	14	9	11	15	8	
千葉県	355	177	178	19	40	14	8	18	7	6	6	4	20	15	14	46	23	22	18	12	11	13	15	7	9	8	
東京都	673	360	313	21	106	42	31	9	8	10	6	4	14	25	19	73	55	40	41	25	32	32	22	17	21	20	
神奈川県	525	275	250	20	90	23	36	20	8	11	1	5	26	13	9	66	26	37	35	22	14	10	20	14	7	12	
新潟県	97	54	43	4	17	8	3	2	3	1	0	0	4	6	6	8	7	6	6	1	3	2	6	1	2	1	
富山県	39	24	15	2	8	3	1	3	2	0	0	0	0	0	1	7	2	2	2	0	2	0	0	0	1	3	
石川県	55	27	28	9	4	1	4	2	0	0	0	0	3	2	3	4	1	7	2	1	2	1	5	3	0	1	0
福井県	55	29	26	6	7	4	1	1	1	0	0	0	6	1	2	5	3	3	1	3	4	2	1	1	2	1	
山梨県	38	22	16	6	3	3	5	0	0	1	0	0	1	1	0	2	7	0	0	0	2	0	4	1	1	1	
長野県	85	48	37	5	18	7	4	2	1	1	1	0	5	6	4	6	9	3	3	0	2	3	4	1	0	0	

岐阜県	111	60	51	3	17	7	5	2	3	0	2	0	6	6	3	10	11	5	6	5	4	7	3	3	0	3
静岡県	207	101	106	7	30	11	10	4	3	3	2	2	12	11	6	20	11	7	17	12	8	11	8	3	5	4
愛知県	423	219	204	14	64	21	19	13	7	5	2	5	21	14	10	43	34	14	28	19	24	11	22	15	8	10
三重県	84	43	41	3	10	4	4	4	1	0	1	0	3	4	2	9	6	4	6	5	7	3	2	3	1	2
滋賀県	84	41	43	10	16	4	1	3	3	1	1	0	2	1	2	6	9	4	4	8	1	4	1	1	1	1
京都府	115	56	59	7	15	5	5	1	1	0	0	0	0	3	3	15	8	7	8	6	10	4	7	3	4	3
大阪府	486	255	231	23	68	17	19	8	3	4	4	4	19	16	15	63	36	34	40	30	19	21	14	10	14	5
兵庫県	252	156	96	7	36	12	10	4	1	6	4	1	6	12	9	27	29	16	14	15	14	7	7	4	8	3
奈良県	71	31	40	8	10	3	3	2	3	1	0	0	2	2	1	8	5	5	5	3	1	2	3	2	1	1
和歌山県	37	18	19	5	3	0	0	0	0	0	0	0	3	1	2	5	2	5	4	1	4	0	1	1	0	0
鳥取県	30	18	12	5	6	1	0	1	0	1	0	0	1	1	1	4	1	0	1	1	1	2	2	0	0	1
鳥根県	40	22	18	2	9	1	2	1	0	0	1	1	3	1	0	6	1	2	1	1	3	2	1	3	0	0
岡山県	107	65	42	6	16	2	3	6	1	1	1	2	7	2	4	7	11	7	5	7	4	5	0	3	5	2
広島県	155	75	80	11	26	9	5	2	1	0	2	2	10	3	5	15	7	9	9	6	7	9	3	6	6	2
山口県	77	40	37	3	12	6	1	1	0	0	0	0	5	1	2	12	9	2	6	4	3	3	1	2	2	2
徳島県	47	24	23	1	5	2	4	1	1	1	2	1	4	1	0	4	3	2	4	2	1	2	2	2	2	0
香川県	49	23	26	4	9	2	1	1	0	0	0	0	2	1	1	7	6	3	2	1	5	0	1	1	0	2
愛媛県	42	16	26	6	6	0	0	1	0	1	0	1	1	2	0	7	3	2	3	2	3	1	1	1	1	0
高知県	37	24	13	2	6	7	1	0	0	0	0	0	1	0	0	3	3	0	1	2	2	3	2	2	2	0
福岡県	337	194	143	18	51	12	21	7	5	4	3	1	13	15	11	28	27	22	16	17	19	14	10	11	4	8
佐賀県	43	26	17	2	5	3	1	0	1	1	0	0	1	2	1	3	3	4	1	4	4	2	3	1	1	0
長崎県	95	48	47	3	16	6	5	3	0	1	1	2	3	4	3	7	9	4	10	3	3	2	3	2	2	3
熊本県	107	57	50	5	20	7	9	1	0	0	0	1	1	5	2	11	8	7	5	3	2	5	5	5	2	3

大分県	55	32	23	3	6	3	2	3	0	4	6	2	2	3	1	3	2	2	0							
宮崎県	64	35	29	3	5	3	1	0	0	1	3	4	5	1	4	3	1	3	5							
鹿児島県	115	52	63	5	12	5	7	2	1	1	8	12	9	9	5	2	2	1	1							
沖縄県	131	70	61	10	14	11	6	3	1	1	11	8	8	2	4	3	3	1	4							
国外	87	48	39	10	8	6	3	3	2	0	7	8	7	3	2	3	1	1	0							
不詳	21	14	7	0	1	5	0	0	0	1	6	1	3	0	0	0	0	1	0							
(合計)	6940	3694	3246	362	1012	354	295	180	87	74	58	55	292	261	203	764	527	416	428	311	289	257	234	189	159	133

(別添表 10：都道府県別の 1 歳未満の死亡件数，性別および年齢群別) 日週月齢区分の記号は表 9 に準ずる。

月週日 齢区分	死亡したところ(死亡診断した施設)の別									(不明)
	国外	県外	県内				小児専門病院			
			小児科 標榜施 設以外	小児科 標榜医 院	小児科標榜病院					
<200 床	200- 500床	500- 700床	700床~							
0	362	10	38	18	0	21	53	87	104	26
1	1012	8	97	28	1	45	127	254	316	125
2	354	5	44	10	1	11	30	96	104	44
3	295	3	24	2	0	7	21	74	102	55
4	180	3	22	1	0	5	16	60	46	23
5	87	2	9	1	0	0	6	24	27	18
6	74	1	11	1	0	0	3	21	29	6
7	58	1	6	0	1	0	4	18	22	6
8	55	1	5	1	0	1	2	17	19	7
9	292	8	41	2	3	7	24	70	89	48
10	261	4	38	3	1	2	21	67	85	36
11	203	6	27	4	0	6	15	48	66	30
12	764	7	83	17	5	27	79	185	245	107
13	527	7	54	16	3	18	50	117	182	69
14	416	7	27	16	5	10	47	94	138	58
15	428	2	36	13	2	12	53	111	140	52
16	311	2	25	8	5	10	34	77	113	35
17	289	2	31	4	2	6	30	70	106	36
18	257	2	20	11	2	8	35	76	77	23
19	234	3	16	8	2	6	27	59	74	30
20	189	1	19	7	1	3	28	44	56	26
21	159	1	16	5	4	3	24	38	47	18
22	133	0	8	2	1	3	15	45	30	28
(合計)	6940	86	697	178	39	211	744	1752	2217	906

(別添表 11：対象の月週日齢群別の死亡したところ(死亡診断した施設)) 日週月齢区分の記号は表 9 に準ずる。

住所地 都道府県	死亡したところ(死亡診断した施設)の別								(不明)
	国外	県外	県内		小児科標榜病院				
			小児科 標榜施 設以外	小児科 標榜医 院	<200 床	200- 500床	500- 700床	700床～および 小児専門病院	
北海道	253	0	9	2	0	11	55	95	3
青森県	75	0	6	2	0	4	4	0	2
岩手県	68	0	1	1	0	8	15	40	1
宮城県	124	1	4	6	1	0	32	79	1
秋田県	50	0	7	3	0	0	12	0	0
山形県	59	0	6	1	0	0	4	0	1
福島県	108	0	9	3	0	2	6	69	0
茨城県	198	1	23	2	1	4	29	137	0
栃木県	120	0	5	4	0	0	11	87	0
群馬県	100	0	10	3	0	1	24	44	1
埼玉県	354	0	55	6	3	8	15	210	1
千葉県	355	0	62	27	14	12	50	91	5
東京都	673	2	74	37	5	14	62	418	12
神奈川県	525	0	54	11	4	6	47	263	38
新潟県	97	0	4	1	0	2	5	34	0
富山県	39	0	0	2	0	0	5	0	0
石川県	55	0	11	1	0	0	3	25	1
福井県	55	0	11	1	0	7	1	0	0
山梨県	38	0	8	0	0	0	1	0	0
長野県	85	0	6	1	0	5	7	52	2
岐阜県	111	0	9	0	0	4	20	14	0
静岡県	207	0	9	3	2	1	19	109	4
愛知県	423	0	39	5	2	1	11	260	2
三重県	84	0	12	0	0	1	19	0	2
滋賀県	84	0	7	2	0	1	17	0	1
京都府	115	1	10	1	0	3	14	63	1
大阪府	486	0	28	6	2	5	60	335	3
兵庫県	252	0	35	14	0	5	12	140	1
奈良県	71	0	13	0	1	0	9	43	1

和歌山県	37	0	8	0	0	0	3	26	0
鳥取県	30	0	1	0	0	0	3	0	1
島根県	40	0	8	0	0	1	0	0	1
岡山県	107	0	7	5	0	0	6	70	2
広島県	155	0	19	1	1	2	28	51	1
山口県	77	0	11	1	0	57	2	0	2
徳島県	47	0	2	0	0	0	7	0	0
香川県	49	0	2	1	0	0	0	17	0
愛媛県	42	0	3	2	1	1	6	13	0
高知県	37	0	2	1	0	3	7	0	0
福岡県	337	0	21	8	0	2	26	211	3
佐賀県	43	0	17	1	0	0	20	0	1
長崎県	95	0	9	0	0	2	3	31	1
熊本県	107	0	14	8	1	9	26	48	1
大分県	55	0	13	0	0	1	7	0	1
宮崎県	64	0	5	1	0	2	18	0	1
鹿児島県	115	0	7	3	0	13	6	0	1
沖縄県	131	0	2	1	1	13	7	48	3
国外	87	81	5	0	0	0	0	0	1
不詳	21	0	14	0	0	0	0	0	7
(合計)	6940	86	697	178	39	211	744	3123	110

(別添表 12 : 1 歳未満死亡において、都道府県別の死亡したところ(死亡診断した施設)、ただし小児専門病院と小児科標榜病院のうち 700 床以上の施設を合算して示した)

月週日 齡区分	死因再分類(※ ただしここで死因再分類として、用手による分類結果を採用する)									
	外因			内因						不詳
	1 他為	2 自殺	3 その 他外因	4 悪性 疾患	5 急性 疾病	6 慢性 疾患	7 先天 性	8 周産 期	9 感染 症	10 不詳 /SIDS
0	11	0	2	4	0	0	137	199	0	9
1	8	0	0	8	2	0	433	539	0	22
2	16	0	2	5	2	0	152	157	1	19
3	2	0	1	3	1	0	147	135	0	6
4	0	0	0	1	1	0	81	91	0	6
5	0	0	1	2	0	1	36	45	0	2
6	1	0	0	1	0	0	38	29	0	5
7	0	0	0	1	0	1	23	31	0	2
8	1	0	0	0	0	0	19	31	0	4
9	1	0	1	4	6	3	117	129	2	29
10	2	0	0	4	9	1	91	116	6	32
11	0	0	0	4	7	1	85	66	4	36
12	10	0	8	14	12	14	295	143	20	248
13	6	0	10	11	13	12	198	66	5	206
14	4	0	14	4	7	7	155	37	10	178
15	4	0	7	8	10	8	159	35	11	186
16	3	0	7	6	9	8	103	28	5	142
17	4	0	9	4	8	9	105	22	9	119
18	8	0	13	5	11	8	76	21	6	109
19	2	0	15	10	7	5	81	21	3	90
20	1	0	9	5	12	7	76	11	4	64
21	5	0	4	8	8	10	58	13	4	49
22	5	0	14	4	5	9	48	9	6	33
(合計)	94	0	117	116	130	104	2713	1974	96	1596

(別添表 13 : 1 歳未満の死亡において、月週日齡区分別の用手分類による死因再分類結果) 日週
月齡区分の記号は表 9 に準ずる。

死亡したところ (死亡診断した施設の種類)	死因再分類(※ ただしここで死因再分類として、用手による分類結果を採用する)									
	外因			内因						不詳
	1 他為	2 自殺	3 その他外因	4 悪性疾患	5 急性疾病	6 慢性疾患	7 先天性	8 周産期	9 感染症	10 不詳/SIDS
小児専門病院	9	0	6	17	16	20	550	191	13	84
小児科標榜病院 (700床～)	27	0	29	54	44	37	854	614	31	527
小児科標榜病院 (500-700床)	28	0	38	23	28	18	591	567	24	435
小児科標榜病院 (200-500床)	7	0	17	3	21	11	247	218	11	209
小児科標榜病院 (～200床)	7	0	7	4	1	2	56	77	4	53
小児科標榜医院	0	0	2	2	0	1	20	1	0	13
小児科標榜施設 以外	7	0	5	2	0	0	21	36	2	105
県外	6	0	8	10	18	14	335	203	7	96
国外	0	0	1	0	0	0	16	38	2	29
(不明)	3	0	4	1	2	1	23	29	2	45
(合計)	94	0	117	116	130	104	2713	1974	96	1596

(別添表 14: 1歳未満の死亡において、死亡したところ(死亡診断した施設)別の用手分類による死因再分類結果)

死亡したところ (死亡診断した施設の種類)	合計	死亡診断した医師		
		小児科専門医	法医専門医等	その他
小児専門病院	906	621	39	246
小児科標榜病院 (700床～)	2217	1210	352	655
小児科標榜病院 (500-700床)	1752	941	268	543
小児科標榜病院 (200-500床)	744	382	75	287
小児科標榜病院 (～200床)	211	84	21	106
小児科標榜医院	39	10	1	28
小児科標榜施設以外	178	0	38	140
県外	697	398	53	246
国外	86	0	0	86
(不明)	110	0	1	109
合計	6940	3646	848	2446

(別添表 15 : 1 歳未満の死亡において、死亡したところ (死亡診断した施設) 別の、死亡診断した医師)

住所地 都道府県	合計	死亡診断した医師		
		小児科専門医	法医専門医等	その他
北海道	253	123	53	77
青森県	75	45	0	30
岩手県	68	47	1	20
宮城県	124	83	0	41
秋田県	50	27	0	23
山形県	59	39	5	15
福島県	108	76	3	29
茨城県	198	110	2	86
栃木県	120	67	12	41
群馬県	100	66	0	34
埼玉県	354	179	53	122
千葉県	355	164	13	178
東京都	673	340	120	213
神奈川県	525	249	98	178
新潟県	97	68	11	18
富山県	39	27	0	12
石川県	55	41	0	14
福井県	55	25	13	17
山梨県	38	26	4	8
長野県	85	57	3	25
岐阜県	111	62	1	48
静岡県	207	132	16	59
愛知県	423	271	1	151
三重県	84	41	22	21
滋賀県	84	38	17	29
京都府	115	66	19	30
大阪府	486	219	93	174
兵庫県	252	125	58	69
奈良県	71	45	6	20
和歌山県	37	17	9	11
鳥取県	30	17	8	5

島根県	40	23	7	10
岡山県	107	49	19	39
広島県	155	82	14	59
山口県	77	42	10	25
徳島県	47	27	12	8
香川県	49	23	14	12
愛媛県	42	25	4	13
高知県	37	27	0	10
福岡県	337	185	48	104
佐賀県	43	34	5	4
長崎県	95	58	7	30
熊本県	107	46	21	40
大分県	55	28	1	26
宮崎県	64	13	9	42
鹿児島県	115	37	4	74
沖縄県	131	53	21	57
国外	87	2	2	83
不詳	21	0	9	12
合計	6940	3646	848	2446

(別添表 16 : 住所地都道府県別の, 1 歳未満の死亡を死亡診断した医師)

用手判定による 死因再分類結果	合計	死因簡単分類に基づいて自動変換した死因再分類結果		
		一致	不一致	一致率 (%)
1. 他為	249	111	138	44.6%
2. 自殺	1569	1446	123	92.2%
3. その他外因	1280	1211	69	94.6%
4. 悪性疾患	1636	1571	65	96.0%
5. 急性疾病	754	372	382	49.3%
6. 慢性疾患	709	469	240	66.1%
7. 先天性	3876	3297	579	85.1%
8. 周産期	2162	1696	466	78.4%
9. 感染症	376	350	26	93.1%
0. 不詳 / SIDS	2568	1546	1022	60.2%
(合計)	15179	12069	3110	79.5%

(別添表 17：研究者の用手判定による死因再分類と，死因簡単分類に基づいて自動変換した死因再分類結果との一致/不一致と一致率)

用手判定による 死因再分類結果	合計	乳児死因簡単分類に基づいて自動変換した死因再分類結果		
		一致	不一致	一致率 (%)
1. 他為	94	37	57	39.4%
2. 自殺	0			
3. その他外因	117	109	8	93.2%
4. 悪性疾患	116	103	13	88.8%
5. 急性疾病	130	58	72	44.6%
6. 慢性疾患	104	61	43	58.7%
7. 先天性	2713	2373	340	87.5%
8. 周産期	1974	1641	333	83.1%
9. 感染症	96	88	8	91.7%
0. 不詳 / SIDS	1596	1087	509	68.1%
(合計)	6940	5557	1383	80.1%

(別添表 18：研究者の用手判定による 1 歳未満の死因再分類と，乳児死因簡単分類に基づいて自動変換した死因再分類結果との一致/不一致と一致率)

